

「社会調査実習報告書」に関して

「本報告書の特徴」(p 4)でも述べられているように、神奈川県公立中学校の生徒と保護者に関する調査は東京大学教育学部比較教育社会学コースにおける「社会調査実習」の授業で、学生がコースのスタッフの指導を受けながら実施したものです。学生たちは調査データを自ら分析、執筆し、報告書(東京大学教育学部比較教育社会学コース編『神奈川県公立中学校の生徒・保護者に関する調査報告書』、以下「社会調査実習報告書」と表記)にまとめています。本報告書の「調査結果概要」(p 6)と学部生5名の原稿は、その「社会調査実習報告書」の内容に加筆・修正を行ったものとなっています。

*本報告書と「社会調査実習報告書」で、データの処理を若干変更している部分があるため、数値が正確には一致しない箇所があります。

「社会調査実習報告書」の執筆者および分析テーマは下記のとおりです。

- 櫻井 美樹 学力の階層差と授業形態——新学力と旧学力に着目して
- 綿谷 志穂 「対話型授業」の効果——学力とコミュニケーション能力
- 山口 泰史 友だち集団の成績同質性の効用と弊害——成績の変化に着目して
- 喜始 照宣 中学生の教育期待に対する「重要な他者」の影響——誰が生徒の大学進学希望に影響しているのか
- 竹中 貞樹 中学校におけるリーダー経験——経験要因とその効果に着目して
- 横井 彩奈 部活動が与える自己効力感への影響——達成場面と人間関係に着目して
- 佐藤 裕人 部活動における敬語使い分け能力の効果——「共通の目的」達成に着目して
- 山室 仁美 友人関係における戦略——「つるむ」ことで得られるもの
- 鈴木 翔 クラスの人気者の研究——メリットとデメリットの比較から
- 嘉本 絵実 友人との付き合い方が自己認識に与える影響のジェンダー差——「ソウルメイト」型と「優しい関係」型に分類して
- 鈴木 瑞希 一人称選択にみる女子の内分化と自己意識の関係——学業と女子文化のはざま
- 白川 由梨 学校環境、親子関係が子どもの自己否定感に与える影響——学力階層との関係に着目して
- 富永 愛子 中学生の対人能力に影響を与えるもの——保護者とのコミュニケーションと授業形式の効果に着目して
- 平澤 香菜 家庭教育の学習意欲と学力に対する影響——階層差ならびに学力と意欲への影響差に着目して
- 武田真梨子 親の期待と子どもの受けとめ方——子どもの将来への意欲と自己否定感に与える影響
- 千田 恭平 中学生の「反抗」の真実の姿——反抗と自立は等価か
- 名古屋秀徳 中学生の趣味の熱中経験が与える正の影響——「ソーシャルスキル」に着目して
- 寺田 悠希 中学生の恋愛焦燥感の形成とその影響——今、ドキッ！中学生のレナイ
- 岩藤 陽子 教育政策の理念と保護者の意識ギャップ——学校運営協議会制度、学校選択制度の評価と母親の意識の関連に着目して
- 山本 貴之 ナショナリズム意識への教科書の効果——教科書論争の前提を問い直す
- 李 昊 中学生の対中親近感についての分析——中学生の対中親近感の形成要因分析